

# 「フォローアップ研修」

- 目的：** 福島県地域家庭教育推進協議会や地域家庭教育推進県中ブロック会議を受け、県や地域の課題を把握し、地域の実態に応じた研修を行うことにより、地域の家庭教育支援者の実践力を高める。
- 日時：** 平成31年1月16日（水） 10:00～12:30
- 会場：** 郡山市労働福祉会館 中ホール
- 参加者：** 家庭教育支援者、放課後子ども教室関係者、市町村教育委員会及び社会教育行政関係者等 74名参加

## □事業説明 □「ふくしまの『家庭学習スタンダード』」について

発表者 福島県教育庁県中教育事務所学校教育課 指導主事 新田 展弘

平成29年12月に福島県教育委員会が作成し、児童・生徒のいる全家庭に配付された「ふくしまの『家庭学習スタンダード』」について、県中教育事務所指導主事より説明を行った。「福島県の教育の現状分析－SWOT分析のバックデータ集－より」を基に、子どもたちの現状や課題についての解説の後、家庭学習を通して「自己マネジメント力」を育むことを目的として本リーフレットを作成したという説明を行った。また、家庭学習を充実させるために、家庭や地域で取り組んでもらいたい3つの視点について、具体的な事例を交えた紹介を行った。

## 【参加者の感想】

- 子ども教室での宿題の仕方が変わったのを感じていたが、今日の話で理解ができた。これからも学校に協力していきたい。
- 家庭学習を充実させていくとともに、子どものことばに耳を傾け、心に寄り添って、よき話し相手になり、安心感を与えられるような家庭教育支援者となるよう心がけていきたい。
- 学校に任せっきりでなく、家庭での取組の大切さをあらためて認識した。小学校の低学年から定着させていければと思った。
- R-PDCAサイクルを大切にするとともに、自己マネジメント力を高めるために、R（リサーチ）から始めていきたい。



## □講演 □「インターネット・スマホ 子どもにどう使わせる？」

講師 会津大学短期大学部産業情報学科 教授 中澤 真 氏

インターネットやスマホは子どもにとっても身近な存在になっており、保護者の知らないところで起きている事件や事故など、ネット社会の現状について映像を交えながらお話をいただいた。ネット依存や個人情報等によるトラブル事例の紹介、コミュニケーション型サービスのリスクについて具体的に説明をいただいた。また、ペアレンツコントロールの重要性とインターネットやスマホの利便性と安全性のバランスの大切さについてもお話をいただいた。

## 【参加者の感想】

- インターネットやスマホに関する課題がとても分かりやすく、参考になった。本人はもちろんのこと、親の意識や考え方も大切なので、啓発に努めていきたい。
- インターネットやスマホの使用にあたって危険性（リスク）フィルタリング、ルールづくり、親としての責任等、広い角度から再認識した。今後の家庭教育支援活動に生かしていきたい。
- これからの時代、インターネットはなくてはならないものなので、子どもたちには利便性と安全性のバランスを保ちながら安全に使わせていきたい。

